

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-523453(P2006-523453A)

【公表日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2006-507590(P2006-507590)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/08 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/18

C 0 7 K 16/08

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/21

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 35/74 Z

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/18

A 6 1 K 37/02

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/53 U

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月23日(2007.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト抗原提示分子と、病原体に由来する抗原とから構成される複合体の抗原提示部分と特異的に結合することができる抗原結合領域を含む抗体または抗体フラグメントを含む組成物であって、前記抗原提示分子は主要組織適合性複合体(MHC)クラスIIおよびC

D 1 からなる群から選択される組成物。

【請求項 2】

配列番号 14 ~ 97 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む抗原結合領域を含む抗体または抗体フラグメントを含む組成物。

【請求項 3】

前記抗体または抗体フラグメントの多量体形態を含む請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記 CD 1 は CD 1 a 分子、CD 1 b 分子、CD 1 c 分子および CD 1 d 分子からなる群から選択される請求項 1 または 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記抗体または抗体フラグメント、あるいは前記抗体または抗体フラグメントの一部はヒト起源である請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記病原体はレトロウイルスである請求項 1 または 3 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記レトロウイルスはヒト T リンパ親和性ウイルス - 1 である請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記病原体に由来する前記抗原は、ウイルスの癌タンパク質のセグメント、Tax タンパク質のセグメント、および配列番号 3 に示されるようなアミノ酸配列を有するポリペプチドからなる群から選択される請求項 1 または 3 に記載の組成物。

【請求項 9】

有効成分としての請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物と、医薬的に許容され得るキャリアとを含む医薬組成物。

【請求項 10】

請求項 1 または 2 に記載の前記抗体フラグメントをコードする核酸配列を含む単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 11】

ウイルスのコートタンパク質、検出可能な成分、およびトキシンからなる群から選択されるポリペプチドをコードする核酸配列をさらに含む請求項 10 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 12】

前記ポリペプチドをコードする前記核酸配列は前記抗体フラグメントをコードする前記核酸配列と翻訳融合される請求項 11 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 13】

前記病原体に由来する前記抗原は、ウイルスの癌タンパク質のセグメント、Tax タンパク質のセグメント、および配列番号 3 に示されるようなアミノ酸配列を有するポリペプチドからなる群から選択されるポリペプチドである請求項 10 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 14】

請求項 1 または 2 に記載の前記抗体フラグメントに融合されたコートタンパク質を含むウイルス。

【請求項 15】

ヒト抗原提示分子と、病原体に由来する抗原とから構成される複合体の抗原提示部分を検出する方法であって、

(a) 前記複合体の抗原提示部分を、請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物にさらし、それにより、前記複合体の前記抗原提示部分と前記抗体または抗体フラグメントとのコンジュゲートを得ること；および

(b) 前記コンジュゲートの前記抗体または抗体フラグメントを検出し、それにより、ヒ

ト抗原提示分子と、病原体に由来する抗原とから構成される複合体の抗原提示部分を検出すること

を含む方法。

【請求項 16】

前記複合体は標的細胞によって呈示または発現され、工程 (a) が、前記標的細胞を前記組成物にさらすことによって行われる請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

個体における病原体による感染を診断する方法であって、

(a) 請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物に前記個体の標的細胞をさらし、それにより、前記複合体の前記抗原提示部分と、前記抗体または抗体フラグメントとのコンジュゲートを得ること；および

(b) 前記コンジュゲートの前記抗体または抗体フラグメントを検出し、それにより、個体における病原体による感染を診断すること

を含む方法。

【請求項 18】

前記標的細胞は T リンパ球または抗原提示細胞である請求項 16 または 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記抗原提示細胞は B 細胞または樹状細胞である請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

病原体に関連する疾患を処置するために固定された医薬の製造のための、請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物の使用方法。

【請求項 21】

前記組成物は前記抗体または抗体フラグメントに結合されたトキシンをさらに含む請求項 20 に記載の使用方法。

【請求項 22】

前記病原体はウイルス病原体である請求項 20 に記載の使用方法。

【請求項 23】

病原体に由来する前記抗原は、ウイルスの癌タンパク質のセグメント、Tax タンパク質のセグメント、および配列番号 3 に示されるようなアミノ酸配列を有するポリペプチドからなる群から選択されるポリペプチドである請求項 20 に記載の使用方法。

【請求項 24】

抗原提示分子および抗原から構成される複合体の抗原提示部分を生物学的サンプルにおいて検出する方法であって、

(a) 前記生物学的サンプルを表面に結合すること；

(b) 前記生物学的サンプルを、請求項 1, 2 または 3 に記載の組成物にさらし、それにより、前記複合体の前記抗原提示部分と、前記抗体または抗体フラグメントとのコンジュゲートを得ること；および

(c) 前記コンジュゲートの前記抗体または抗体フラグメントを検出し、それにより、抗原提示分子および抗原から構成される複合体の抗原提示部分を生物学的サンプルにおいて検出すること

を含む方法。

【請求項 25】

前記抗原は、ウイルスの癌タンパク質のセグメント、Tax タンパク質のセグメント、および配列番号 3 に示されるようなアミノ酸配列を有するポリペプチドからなる群から選択されるポリペプチドである請求項 24 に記載の方法。

【請求項 26】

前記抗原提示分子は主要組織適合性複合体 (MHC) クラス II を含む請求項 1 に記載の組成物。